

たたかひで 政治を変える

日本共産党

区議会議員（都議予定候補）

大島よしえ

衆議院東京12区
予定候補

池内さおり



足立土建会館で13区候補渡辺修次さんと一緒に

人間を大切に作る社会へ

財界、大企業に直談判、首相と党首会談

大企業の身勝手な「派遣切り」は許さない

大企業が景気悪化を口実に「派遣切り」「期間切り」を競い合っています。日本共産党は、いち早く麻生首相や日本経団連、トヨタなど個別企業との会談をおこない「労働者の雇用を守るために、大企業は社会的責任を果たせ」と強く要求してきました。



これを受け、厚労省が全国に「派遣切り防止」通達を出し、いすゞは期間従業員の中途解雇方針を撤回しました。

派遣という「使い捨て」労働の自由化に最初から反対を貫いた、「大企業にモノが言える」日本共産党の値打ちが光っています。

「ブレない」主張が新しい「社会保障・消費税

財界・アメリカ中心の「2つの政治悪」正す

自公政権の下、医療、年金、介護、あらゆる分野で福祉切り捨てが横行。後期高齢者医療制度や、毎年2200億円もの社会保障予算の削減をやめさせ、財源もしめして社会保障を充実させる道を提案してきたのが日本共産党です。3年後の消費税増税をねらう麻生政権。

民主党も「いずれは増税」の立場です。日本共産党はいつかんとて消費税増税に反対しています。日本共産党の主張がブレないのは、大企業中心主義、アメリカがいなりという「2つの政治悪」を大もとから正す根本的立場に立っているからです。

いま注目の日本共産党
 一昨年9月以降の入党者数は約1万3000人

日本共産党の党員数

194年 29 総大会	36万人
108年 24 総大会	40万4299人

赤羽駅東口で訴える志位和夫委員長（手前左）、池内さおり衆院12区予定候補（同右）ら。 一08年11月2日

新足立

2009年
1月号外

日本共産党足立地区委員会は、上記の見解を發表しました。発行
第三種郵便物認可 このチラシに関するご意見・ご質問は、

新足立 足立区日ノ出町27 3
電話 3889 8115まで

あなたの
声を

まっすぐに

とどけ
ます

衆議院東京12区
予定候補

池内さおり

いけうち

沙織

26歳

希望をもって暮らせる社会に

「若者を使い捨てにする政治は許せません」
 「後期高齢者医療制度はただちに廃止を」
 候補者として名乗りをあげてから約1年、池内さんは、連日のように街頭に立ち、日本共産党の政策を訴えてきました。演説の回数は、すでに550回におよびます。いまでは小学生からも「あっ、いけうちさおりだー」と声援が飛ぶようになりました。
 「政治を変えるには、まず現場を知ること」と、池内さんは、この間、ハローワークや赤羽しごとコーナー、特別養護老人ホーム、障害者施設、保育園などさまざまな施設を訪問し、利用者やそこで働く人の声に耳を傾けてきました。
 低賃金、長時間・過密労働の介護施設の現場で、必死に働く職員の姿に涙を浮かべ

抜群の行動力
 街頭演説、施設訪問、精力的に



池内さおりのインターネット日記（ブログ）

開設
1年

33万件アクセス突破!

年越し派遣村を訪問



志位委員長を先頭に訪問

た池内さん。「みなさんのご苦労に学びながら、働く人が報われる政治に、必ず変えてゆきます」と、決意を新たにしています。

行ってきました 青年大集会 08.10.5

明治公園で開かれた全国青年大集会に参加！4600人が集まりました。偽装請負を告発した勇気ある青年が、正社員として雇用されるどころか、企業から雇い止めにされ、新たなたたかいに立ち上がっています。私は、同じ世代の若者が泣き寝入りせず、人間らしく働く道を切り開く先頭にたっている姿に、心底励まされました。



志位委員長と一緒に街頭演説 08.11.2



本日、志位和夫委員長を迎え、赤羽駅東口で、日本共産党街頭演説会を行わせていただきました！

私が持っているパンフレット。仲間とともに100回以上の労働実態調査を行い、そこで聞いた声をまとめたものが、このパンフレットです。そして志位委員長。毎年13兆円も負担を押し付けながら、1回きりの定額給付金で「かんべんできるか」。その上、3年後の消費税増税など「絶対に許せないではありませんか」の訴えに、大きな拍手です。

続きは、<http://saolyn.kyoukita.jp> へGO!

池内さおりのプロフィール

1982（昭和57）年、愛媛県松山市生まれ 中央大法学部卒業
 大学では、法律を学ぶかわら、ロックバンドでライブ活動も。仲間たちと「中大・九条の会」を結成 卒業後、日本民主青年同盟東京都委員会に勤務。副委員長として青年運動の先頭に 現在、党衆院東京12区青

年運動部長。

入党のきっかけは 小林多喜二

不当な弾圧に屈せず、正義と真実のためにたたかった日本共産党員作家・小林多喜二の生きざまに感銘を受け、21歳の時に日本共産党に入党。

